

## 令和7年度 那覇市上下水道局公金管理運用計画

那覇市公金管理運用方針に定める公金管理運用の基本原則に則り、公金の安全性（元本の保全）、流動性（現金化の容易度）及び効率性（収益の向上）を考慮した運用を行うため、令和7年度 那覇市上下水道局公金管理運用計画を次のとおり定めます。

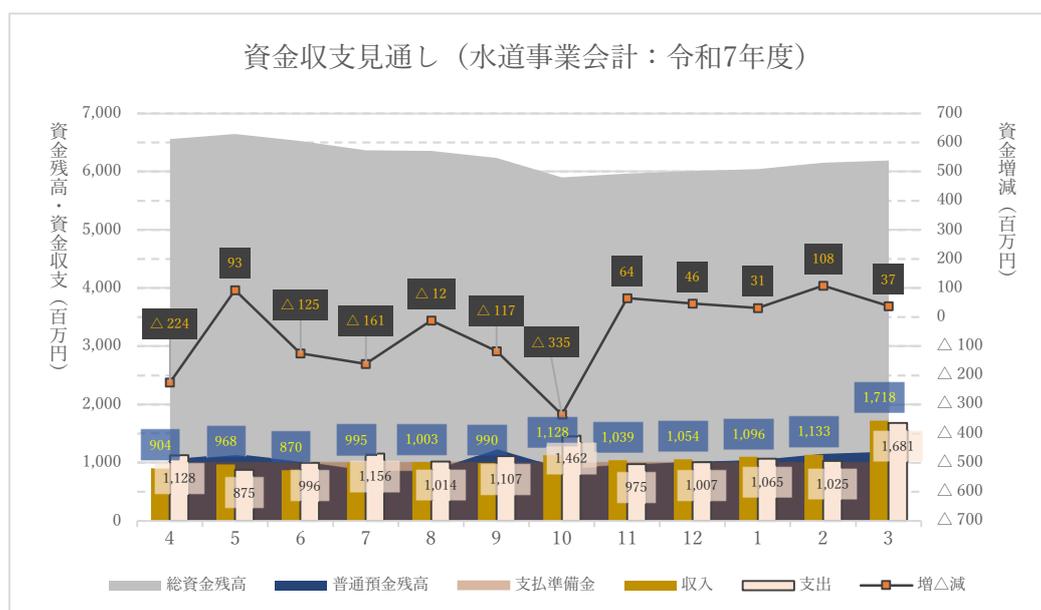
### 【水道事業会計】

#### 1. 資金収支見通し

令和7年度の資金収支見通しは、以下の表のとおりとなっています。

収入は、水道料金値上げに伴い8月からやや増加し、以降は多少の増減はあるものの安定した収入が見込まれます。3月には貸付金の償還により増加します。

支出は、受水費（沖縄県企業局水道料金）の値上げに加え、7月に債券の購入、10月と3月にはそれぞれ5億円の国債等の購入を予定していることから増加する見込みとなっており、その原資については、定期預金（満期分）の一部を充てる予定となっています。



※毎月の支払に備えるため10億円程度を支払準備金として普通預金で保管します。

#### 2. 運用方法

##### (1) 短期運用

##### ① 定期預金

財政見通しを踏まえ、支払準備金10億円を超える資金については、短期及び中期の資金需要や不測の事態に備えるため、②の場合を除き、定期預金による運用を行います。

## ②債券

市中金利の状況を注視し、定期預金満期償還金のうち一部（10億円以内）については年限2年の国債等による運用を行うことで、資金の安全性及び流動性を確保しつつ、より有利な資金運用を行います。

## (2) 長期運用

### ①債券

建設改良積立金、退職給付引当金及び損益勘定留保資金を原資に、金利の変動に留意しながら、20年債を各年度2億円、20年間購入し、合計40億円の債券購入を行います。

購入する債券は「那覇市債券運用要綱」に従い、国債、地方債、政府保証債、財投機関債又は地方公共団体金融機構債とし、元本の償還及び利息の支払いが確実な利付債券とします。

### ②他会計への長期貸付

過去に貸し付けた他会計貸付金の償還金を原資として、必要に応じて他会計に貸付を行います。資金を分散させることによるリスク回避や、金融機関へ預け入れる利率より高い利率での貸付により、運用益を増加させることが可能となります。

また、定時償還により流動性も図られます。

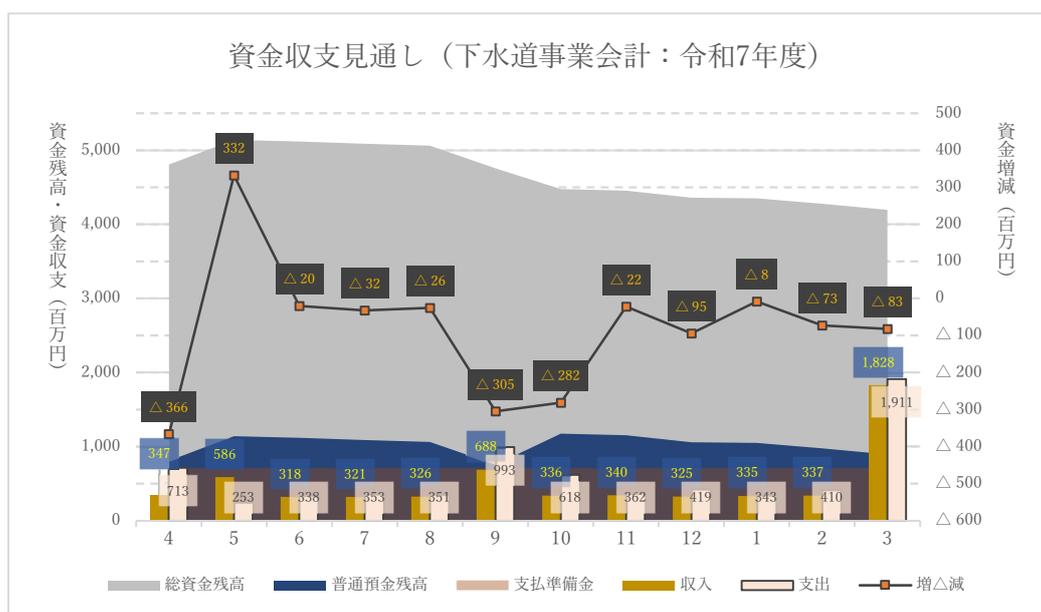
## 【下水道事業会計】

### 1. 資金収支見通し

令和7年度の資金収支見通しは、以下の表のとおりとなっています。

収入は、9月に一般会計繰入金、3月に補助金の受入れや企業債の借入を予定しており増加する見込みとなっています。

支出は、7月に債券の購入、9月と3月に企業債償還を、10月と3月にはそれぞれ3億円の国債等の購入を予定しているため増加する見込みとなっています。



※毎月の支払に備えるため7億円程度を支払準備金として普通預金で保管します。

### 2. 運用方法

#### (1) 短期運用

##### ① 定期預金

財政見通しを踏まえ、支払準備金7億円を超える資金については、短期及び中期の資金需要や不測の事態に備えるため、②の場合を除き、定期預金による運用を行います。

##### ② 債券

市中金利の状況を注視し、定期預金満期償還金のうち一部（6億円以内）については年限2年の国債等による運用を行うことで、資金の安全性及び流動性を確保しつつ、より有利な資金運用を行います。

#### (2) 長期運用

損益勘定留保資金を原資に、金利の変動に留意しながら、20年債を各年度1億円、10年間購入し、合計10億円の債券購入を行います。

購入する債券は「那覇市債券運用要綱」に従い、国債、地方債、政府保証債、財投機

関債又は地方公共団体金融機構債とし、元本の償還及び利息の支払いが確実な利付債券とします。